

議事録

1. 件名：「令和 4 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性の検討用の試験体の製作及び事前解析」で製作した試験体等の現物確認(第 2 回)
2. 日時： 令和 5 年 3 月 13 日(月) 13:50～15:50
3. 場所： 株式会社東芝 京浜事業所
4. 出席者： 原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
日比野総括技術研究調査官、高松技術参与

東芝エネルギーシステムズ株式会社
磯子エンジニアリングセンター 原子力システム設計部 エキスパート ほか 2 名
パワーシステム事業部 原子力技術部 シニアエキスパート
京浜事業所 製造技術部 製造技術グループ スペシャリスト
5. 要旨：
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討の一環として、過去に大きな地震を経験した既設プラントの設備の耐震性に係る知見を拡充するための安全研究を令和 3 年度から令和 6 年度にかけて計画し、実施している。
当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和 4 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性の検討用の試験体の製作及び事前解析」事業を実施している。
今回は、当事業で製作した試験体等の現物確認(第 2 回)を実施した。内容は下記のとおり。
 - ① 当事業で製作した試験体の鋼構造部について、東芝エネルギーシステムズ株式会社から説明があった。
 - ② 現物の数量、材料、寸法、外観等を確認し、仕様を満たしていることを確認した。
 - ③ 今後のスケジュールについて、確認した。
6. その他
特になし